

菜種の搾油体験で循環型農業を学ぶ

6月17日、東方小で菜種の搾油体験活動がありました。6年生24人と保護者が学校の菜園で協力して刈り取り搾油機で搾油。今後、給食や家庭科の授業で使用されることになっています。



野尻町商工会工業部会が道路清掃

6月23日、野尻町商工会工業部会が国道268号線沿いを中心に清掃作業を行いました。会員など約20名が参加。西力部会長は「少しでも地域に貢献できれば」と話していました。



秀峰高校生徒が、文武両道の成果報告

6月27日、宮崎県立小林秀峰高等学校の生徒36人が、肥後市長を表敬訪問しました。



新体操部、男子ハンドボール部、女子ハンドボール部は九州大会に出場し、全国大会への切符を獲得。8月に東北で開催される平成23年度全国高等学校総合体育大会に出場します。高校生ものづくりコンテスト宮崎大会の入賞者5名のうち、各部門の最優秀賞を獲得した3人は、7月に熊本市で開催される第10回高校生ものづくりコンテスト九州大会に、宮崎県高等学校情報処理競技大会で入賞した3人が7月に千葉市で開催される全国高等学校情報処理競技大会に出場します。



野尻クラブが学童野球で全国に挑戦

7月4日、全日本学童軟式野球宮崎県大会で準優勝を果たし、全国大会に出場する野尻クラブスポーツ少年団が、肥後市長を表敬訪問しました。竹山慶太郎キャプテンは「宮崎県の代表として、優勝目指して頑張ります」と意気込みを語りました。



「JAPAN九州のメンバーに選ばれたのは県内で2人。石川君の最大の武器は130キロ代後半のストレート。『直球で押し二振を取りたい』と世界の強豪との対戦を楽しみにしていました。」

小林ボーイズの本格右腕
石川泰士郎君が世界少年野球に出場

8月8日から福岡県で開催される世界少年野球大会に出場するJAPAN九州のメンバーに紙屋中の石川泰士郎君が選ばれました。石川君は硬式野球の小林ボーイズに所属しており、エースピッチャーとして活躍。「体は小さいほうだが、めったに選ばれることではないので、優勝目指して頑張りたい」と意気込みを語っていました。



中央大学研究室の研究内容や、今後の調査研究について、中央大学の細野助博教授から説明を受けるグループ員。

大学と協同して調査研究を行う
グループ員に7名が委嘱

7月14日、第1回小林市活性化研究会ワーキンググループ会議が行われました。中央大学と協同して、市の活性化につながる調査、研究を行っていくグループ員には、公募を含めた7名が委嘱。グループ長佐藤豪太さんは「市の活性化に役立てるよう、精一杯頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

口蹄疫などの防疫に一致団結
西諸の2市1町で応援協定

7月13日、口蹄疫等発生時の防疫業務に関する西諸県地域相互応援協定書の調印式が行われました。これは、家畜伝染病が発生した場合などに、迅速かつ的確な防疫を実施するため、西諸の2市1町が協力して取り組むもの。調印を終え肥後正弘市長は「畜産は西諸の基幹産業。この協定を活用することがないようお願いしたい」とあいさつしました。



西諸県農林振興局の山本慎一郎局長【右から2番目】は「万が一の場合は、初動防疫から地域一体で取り組んでほしい」と話しました。

大自然にこだまする迫力の音
すき納涼花火大会に1万5千人

7月17日、須木中グラウンドで小林市すき納涼花火大会が開催されました。あいにくの雨天にもかかわらず、会場には1万5千人の人出。傘を差しながら、ステージでの太鼓演奏や保育園児のかわいらしいダンスに盛り上がりました。そして、午後8時になると5千発の花火に点火。来場者は歓声をあげて花火を楽しんでいました。



①勇壮な演奏を披露した鳥田町いちょう太鼓。②キレのある動きで来場者を魅了したKid's Danceカンパニーの皆さん。③かわいらしいダンスで会場を沸かせた鳥田町保育園と須木中央保育園の園児。



国語、英語、社会、理科、体育の5教科を体験。英語のクラスでは、英会話で自己紹介をした後、かるたで英語に親しみました。

小林小・南小の6年生が
中学校の授業を体験

7月12日、小林中学校で、小林小・南小・小林中の合同交流会が行われました。両小学校の6年生151人が、5クラスに分かれて中学校教諭の授業を体験。小林中徳村光郎校長は「小中一貫教育の良さのひとつ。中学校の雰囲気を感じて、小学校と中学校の違いにうまく適応してほしい」と話していました。



※この写真は多重露光などで編集されたものです。